

## 2026 年度人間環境学部新 2～4 年生向け履修情報まとめ

2026 年度から人間環境学部では新しいカリキュラムがスタートします。

2025 年度以前に入学した新 2 年生以上の皆さんは旧カリキュラムが適用されますので、履修に大きな変更はありませんが、以下の点に注意して授業計画を立ててください。

### 新設授業について

- [1. 専門科目](#)
- [2. 英語科目](#)
- [3. 新規着任教員の担当科目](#)

### [人間環境セミナー・フィールドスタディ・キャリアチャレンジについて](#)

### [研究会 B について](#)

=====

#### 1. 専門科目

2026 年度から以下の講義科目が新しく開講されます。

詳しい授業内容はシラバスで確認してください。

科目名	担当者	開 講 学 期・曜日 時 限・場 所	授業の概要
人間環境特論 (人口から考 える持続可能 な地域社会)	久井情在	春・火 4・ Y705	前半で人口学の基礎を学び、それを踏まえて後半で地方自治体における人口問題と対策について学びます。
人間環境特論 (住宅から考 える持続可能 な地域社会)	柳瀬有志	秋・木 4・ Y506	社会経済情勢が変化する中、住宅に求められる役割は多様化している。多発する自然災害、人口減・高齢社会、価値の多様化等、近年の重点テーマに焦点をあて、住宅から考える持続可能な地域社会のあり方について検討する。この授業は、担当教員の実務経験を活かし、学生が住まいやまちづくりの現場に触れながら、今後求められる住宅のあり方について学ぶことを目的とする。
人間環境特論 (現代ヨーロ プ)	和田知之	秋・火 5・ Y605	本講義は宗教学という学問の基本的な考え方を身につけることを目的としています。

<p>ッパ社会と宗教)</p>			<p>世界中の人々が来日したり、もしくは皆さんご自身が海外に渡航する機会が増えつつある現代において、宗教に対するリテラシーは異なる文化や価値観を持つ人々と共生する上で必要不可欠となっています。また現代の政治や社会において宗教が果たす役割は国や地域を問わず今もなお大きいといえるでしょう。しかしここで求められている宗教に対するリテラシーとは、単にそれぞれの宗教の教義を丸暗記することではありません。</p> <p>この授業では、教員の専門地域であるヨーロッパの事例を扱いながら世俗化、政教関係、ライシテ、移民・マイノリティ、ナショナリズム、いわゆる「カルト」・「セクト」・「過激派」、ジェンダー・セクシュアリティ、宗教間対話、宗教と教育、宗教の自由といった現代の社会問題に関わるテーマを学習していきます。宗教についての学問的な視座を身につけることで、宗教が抱えている重要性や問題への理解を深めるだけでなく、比較を通じて皆さんが宗教に対するご自身の考え方や日本社会一般の通念を自己批判的に検討できるようになることを目指します。</p>
<p>人間環境特論 (東南アジアの仏教)</p>	<p>川本佳苗</p>	<p>春・木2・BT0610</p>	<p>日本の精神文化の根底には、仏教や神道に由来する宗教思想が脈々と流れていると言ってもよいが、現代において自身を仏教あるいは神道の信徒であると自覚する者は少ないであろう。</p> <p>その一方で、東南アジアでは日常生活の場で仏教の信仰と実践とが不可分の「生きた」宗教として見られる。</p> <p>本科目では、今日「東南アジア」と呼ばれている地域のうち、タイ・ミャンマー・カンボジア・ラオスを含む大陸部の諸地域において主要な宗教となった「上座部仏教」(テーラワーダ仏教)を中心として講義する。仏教の基本思想に触れるとともに、画像や動画などの視覚的資料を積極的に用いながら、現代東南アジアの社会課題と仏教との関わりを紹介していく。</p> <p>本科目を通して、学生は世界の歴史における宗教の影響を理解するとともに、自身が暮らす日本社会における宗教の位置付けと東南アジアの仏教のそれとの違いを学ぶことができる。</p>
<p>人間環境特論 (資源循環の社会実装学ー国内資源循環</p>	<p>中野亮太</p>	<p>秋・金2・Y605</p>	<p>本講義の目的は、現代社会の喫緊の課題である「サーキュラーエコノミー(循環型経済)」の実現に向け、資源循環を単なる排出物処理という「コスト」としてではなく、企業の競争力を</p>

の最前線ー)			<p>高める「戦略的資産」へと転換させる社会実装の手法を習得することにあります。</p> <p>具体的には、実社会の廃棄物がどのような法的・経済的メカニズムで資源化されるのか、その裏側にある最適解を、企業の実例を通じて多角的に考察していきます。また環境合理性と経済合理性を両立させる実務の思考プロセスを提示し、持続可能な社会を構築するための具体的な実践知を学生に提供することを主眼とします。</p> <p>本講義はエコモーション株式会社による寄付講座となります。</p>
--------	--	--	---

2026年度から以下の専門科目が名称変更になりました。

詳しい授業内容はシラバスで確認してください。

科目名（旧科目名）	担当者	開講曜日・時限・場所	授業の概要
ヨーロッパ地域・経済研究(人間環境特論(ヨーロッパ地域研究))	松本敦則	秋・火5・S306	ヨーロッパ地域は広い。欧州連合（EU）加盟国だけでも27か国、人口も約4億4800万人ほどいる。そのため本授業では多くを取り扱うことはできない。そこで経済や社会など個別具体的なトピックスを取り上げていく。この授業の目的はヨーロッパ地域の経済を中心に歴史的経緯、基礎的知識、現在の状況を学ぶことである。

=====

## 2. 英語科目

テーマ別英語が新しくなりました！

授業の内容が変わり、2単位科目になります（これまでは1単位）。

詳しい授業内容はシラバスで確認してください。

科目名	担当者	開講曜日・時限・場所	授業の概要
テーマ別英語 1 Critiquing Global Sustainability	Paul Kyle KALLENDER	春・水5・BT0604	本講義は、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）の枠組みを通じて、現代社会におけるグローバルな持続可能性課

Issues			<p>題を検討することを目的とします。学生は、社会的および環境的課題を学際的観点から批判的に分析し、それらについて英語で議論する能力を養います。(2025年度以前に「テーマ別英語1」の単位を修得済みの学生は履修不可)</p>
テーマ別英語 2	Deryk Cameron BLISS	春・水 4・F408	<p>建設業は依然として日本にとって最も重要な産業の一つであると同時に、持続可能性における最大の課題の一つでもある。日本は世界有数の才能ある建築家を数多く輩出しており、この地に人類が定住し始めた時代まで遡る独自の建築史を有している。2050年までのカーボンニュートラル達成など、日本の持続可能性目標を成功させるには、建築物の建設方法の変革が不可欠である。本講座では、日本の建築的過去から得られる教訓を、現在および未来に向けてどのように活用できるかを考察する。</p>
テーマ別英語 3 Arts and Social Change	佐伯英子	秋・木 3・ BT0501	<p>This course explores the role of the arts, including visual arts, music, performance, film, and other creative practices, in reflecting and challenging social norms, shaping identities, and engaging with contemporary social issues. Through readings, discussions, presentations, and assignments in English, students will examine how artistic expressions intersect with politics, culture, and community engagement in both global and local contexts. (2025年度以前に「テーマ別英語3」の単位を修得済みの学生は履修不可)</p>
テーマ別英語 4	近藤亮介	秋・木 2・ BT0904	<p>「ランドスケープ＝風景」は、普段あまり意識されることがないが、西洋絵画の一ジャンルである「風景画 (landscape painting)」から、都市環境をデザインする「造園 (landscape architecture)」まで、幅広い分野に影響を与えてきた重要な概念である。この授業では、ランドスケープの視点から、近現代のアートとデザインについて学ぶことを通じて、自然と人間、社会と環境との関係について考察する。</p>

スキルアップ科目（アクティブ英語）の科目名が変更され、これまでの英語Ⅰ～Ⅳは新しく **English Communication** と **Advanced English Communication** として開講されます。履修登録の際は新名称で登録してください。こちらは1単位科目のままです。  
 詳しい授業内容はシラバスで確認してください。

科目名（旧科目名）	担当者	開講曜日・時間・場所	授業の概要
英語Ⅰ (English Communication 1) (スキルアップ科目)	平野井ちえ子	春・火 3・BT0309	大人の初級レベルのコミュニケーションに親しみをもてるよう、世界遺産をテーマに英語での基礎的な発信力を養います。
英語Ⅱ (Advanced English Communication 1) (スキルアップ科目)	Deryk Cameron BLISS	春・水 3・F303	このコースでは、学生が本授業や他の授業で活用できる語彙や表現の幅を広げる機会を提供します。SDGsを出発点とし、教科書から取り上げた多様なトピックや授業内で生まれたアイデアについて、豊富なペアワーク、グループワーク、クラスディスカッションを中心に展開します。
英語Ⅲ (Advanced English Communication 2) (スキルアップ科目)	Deryk Cameron BLISS	秋・水 3・F306	デジタルリテラシー、すなわちオンラインや印刷物など様々なメディア情報源から情報を理解し活用する能力は、大学や日常生活だけでなく、特にAIが社会のあらゆる側面で活用されるようになる中で、将来の職場においても重要なスキルです。本講座では、マスメディアの設計、それが私たちに与える影響、そして現在および将来においてこれらのツールを最適に管理する方法について考察する機会を提供します。

=====

### 3. 新規着任教員の担当科目

2026年4月に新たに着任する教員が担当する科目が以下のように開講されます。  
 研究会Aに応募したい人は、学習支援システムに仮登録し、初回授業に参加して、選考を受けてください。2回目授業より受講者を確定して実施されます。  
 詳しい授業内容はシラバスで確認してください。

科目名	担当者	開講曜日・時 限・場所	授業の概要
研究会 A (関連するコース:ローカル・サステイナビリティ、環境サイエンス)	佐々木大輔	通年・金 3・ BT0507	近年、想定を超える気象災害が各地で頻繁に生じており、気候変動対策と防災・減災対策とを効果的に連携させて取り組んでいくことが求められている。 本研究会では、気候変動影響を把握した上で緩和と適応を考慮して行う対策、災害による被害を最小限にするべく事前に実施する対策、災害からの復興等について横断的に学ぶ。
環境科学 I (環境サイエンスコース:コースコア科目 それ以外のコース=コース連関科目)	佐々木大輔	春・木 5・ BT0506	環境科学は人と自然の相互作用を把握し、その関係を持続的に維持・発展させるための方法論を体系化した文理融合型の学問分野である。 本授業・環境科学 II を通して、環境問題の実態について正しく理解するとともに、その解決に向けた対処法について考える力を養うことを目指す。なお、I・II のいずれかの授業のみを履修しても構わない。 環境科学 I では主に地球規模での問題について、環境科学 II では主に地域規模での問題について学ぶ。
環境科学 II (環境サイエンスコース:コースコア科目 それ以外のコース=コース連関科目)	佐々木大輔	秋・土 1・ F402	環境科学は人と自然の相互作用を把握し、その関係を持続的に維持・発展させるための方法論を体系化した文理融合型の学問分野である。 環境科学 I ・本授業を通して、環境問題の実態について正しく理解するとともに、その解決に向けた対処法について考える力を養うことを目指す。なお、I・II のいずれかの授業のみを履修しても構わない。 環境科学 I では主に地球規模での問題について、環境科学 II では主に地域規模での問題について学ぶ。

=====

人間環境セミナー・フィールドスタディ・キャリアチャレンジについて

これら 3 種類の授業は、卒業までに 6 単位の履修が必要な選択必修科目となっています。

#### 人間環境セミナーについて

人間環境セミナーは年 3 科目開講されます(春学期土曜 3 限、秋学期水曜 6 限と土曜 3 限)が、受講人数が課題となるため選抜を実施する場合があります。

セミナーを受講できない場合に備えて、フィールドスタディやキャリアチャレンジの受講も併せて検討してみてください。

#### フィールドスタディ・キャリアチャレンジについて

この 2 つの授業は I 期(夏休み)と II 期(春休み)に現地訪問が行われ、それぞれ 5 月と 9・10 月に募集が行われます。学部ホームページで告知しますので注意しておいてください。いずれのコースにおいても、事前学習、現地訪問、事後学習のすべてに参加し、課題を提出した場合にのみ単位が与えられます。欠席した場合は履修できなくなることがあります。履修したコースの単位は次の学期に登録されます。それゆえ 4 年生は、II 期に実施されるコースに参加しても単位は修得できなくなります。

=====

#### 研究会 B について

新カリキュラムのもとでは、研究会 B は「演習」という科目名になります。またすべて半期科目になります。2025 年度以前に入学した皆さんはこれまで通り研究会 B として履修が可能ですが、これまでのような前年度秋学期の募集は行いません。2027 年度に研究会 B を履修したい人は、通常の授業と同じように初回から授業に参加してください。